

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公表番号】特表2019-508535(P2019-508535A)

【公表日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-012

【出願番号】特願2018-539938(P2018-539938)

【国際特許分類】

C 09 J 161/06 (2006.01)

C 09 J 11/08 (2006.01)

C 09 J 153/00 (2006.01)

【F I】

C 09 J 161/06

C 09 J 11/08

C 09 J 153/00

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1) アルキルフェノール(例えば、ブチル-若しくはオクチル-若しくはノニル-)とホルムアルデヒド、又は

(2) アルキルフェノール(例えば、ブチル-若しくはオクチル-)とアセトアルデヒド、又は

(3) アルキルフェノール(例えば、ブチル-若しくはオクチル-)とアセチレンの反応によって作製される熱可塑性フェノール樹脂を含む、感圧性接着剤組成物。

【請求項2】

アクリル、ゴム、天然ゴム、イソブレンブロックコポリマー、ブタジエンブロックコポリマー及びそれらの組み合わせのうちの少なくとも1つを更に含む、請求項1に記載の感圧性接着剤組成物。

【請求項3】

ポリテルペン、ロジンエステル、テルペンフェノール、炭化水素樹脂及びこれらの組み合わせから実質的になるリストから選択される粘着付与剤を更に含む、請求項1又は2に記載の感圧性接着剤組成物

【請求項4】

前記熱可塑性フェノール樹脂が、約2wt%~約45wt%の量で存在する、請求項1~3のいずれか一項に記載の感圧性接着剤組成物。

【請求項5】

前記アルキルフェノールが、エポキシ、ロジン、テルペン、ブタジエン及びこれらの組み合わせから実質的になるリストから選択される官能基で修飾されている、請求項1~4のいずれか一項に記載の感圧性接着剤組成物。

【請求項6】

バッキングと、

請求項1~5のいずれか一項に記載の感圧性接着剤組成物と

を含み、

低VOC若しくはVOC無し、ディープベース配合物又はプライマーを含む配合物のうちの少なくとも1つを有する建築用コーティングを含む被着体に対して、79°F及び相対湿度74%で測定したとき、前記熱可塑性フェノール樹脂を含まない接着剤物品と比較して改善された接着力を示す、接着剤物品。